Panasonic®

取扱説明書

SD オーディオプレーヤー

品番 SV-SD350V
SV-SD300

D-snap Audio

保証書付き

上手に使って上手に節電

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

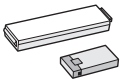
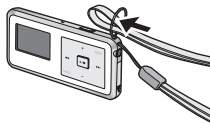
RQT8281-S
F0905Re0 (20000Ⓐ)

はじめに

このたびは SD オーディオプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(30 ～ 35 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
本書は SV-SD350V と SV-SD300 を共用しており、SV-SD350V のイラストを使用しております。
本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

もくじ

付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は、
2005 年 9 月現在のものです。

□ステレオインサイドホン (L0BAB0000197)	□乾電池ケース（本機専用） (RFE0186)	□CD-ROM☆ (SD-Jukebox Ver.5.0 Light Edition)
	 ● SV-SD350V のみ付属	
□ACアダプター(本機専用) (VSK0672) 	□ニッケル水素充電式電池☆ (HHF-AZ10S/1H:ケース付) 	□ストラップ (RFA2730-W)
□USB 接続ケーブル (K1HA08CD0007) 		

別売品のご紹介

ソフトケース	RP-SB150
アクティブスピーカー	RP-SPT150

SD カード（別売）

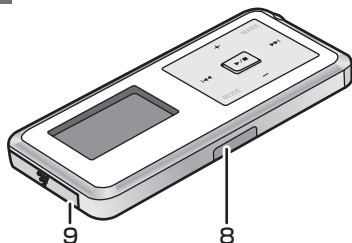
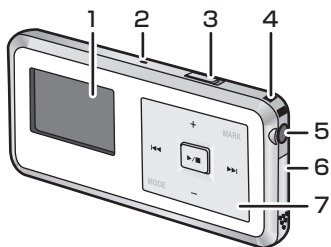
● 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、miniSD カード（miniSD アダプターが必要です）が使えます。
● 本機では以下の容量(8 MB～2 GBまで)のSDメモリーカードが使用できます。（Panasonic 製を推奨）

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、 256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで

● 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
● 最新情報は http://panasonic.jp/support/d_snap をご確認ください。

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品または SD カードの不具合で録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- SD ロゴは商標です。
- miniSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- Microsoft とそのロゴ、Windows とそのロゴ、Windows Media、DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WMA（Windows Media™ Audio）とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスを受けています。
- Portion of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- Intel、Pentium は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM および PC/AT は、米国 International Business Machines Corpoation の登録商標です。
- Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- 音楽認識技術と音楽関連データは Gracenote® と Gracenote CDDB® 音楽認識サービスによるものです。Gracenote は音楽認識技術と音楽付帯情報配信における世界標準です。詳細は www.gracenote.com まで。
  CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote. 米国特許番号 No.5,987,525、No.6,061,680、No.6,154,773、No.6,161,132、No.6,230,192、No.6,230,207、No.6,240,459、No.6,330,593 上記以外のものについては特許出願中。Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。"Gracenote"、"CDDB"、"Powered by Gracenote" ロゴおよびロゴ表記は Gracenote の商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ®、TM マークは一部明記していません。
- Licensed AAC Patents (U.S. patent numbers);

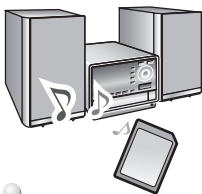
08/937,950	5 752 225	5,235,671	98/03036	08/211,547	5,197,087	5,548,574
5848391	5,394,473	07/640,550	5,227,788	5,703,999	5,490,170	08/506,729
5,291,557	5,583,962	5,579,430	5,285,498	08/557,046	5,264,846	08/576,495
5,451,954	5,274,740	08/678,666	5,481,614	08/894,844	5,268,685	5,717,821
5 400 433	5,633,981	98/03037	5,592,584	5,299,238	5,375,189	08/392,756
5,222,189	5 297 236	97/02875	5,781,888	5,299,239	5,581,654	
5,357,594	4,914,701	97/02874	08/039,478	5,299,240	05-183,988	

各部の名前

1. 表示パネル
   - バックライトが消灯したときは、音量ボタン（+・−）を押すか、HOLD スイッチを［▷］の方向に切り換えると、再度点灯します。
2. マイク[MIC]（SV-SD350V のみ）
3. HOLD スイッチ［HOLD▶］
4. ストラップ取付部
5. ヘッドホン端子
   （ステレオミニ：M3）
   - 必ず付属のステレオインサイドホンをお使いください。
   - 奥までしっかり差し込んでください。
6. 電池ふた
7. 操作ボタン
   ▶/■　再生 / 停止
   - 電源の切 / 入にも使用します。
     切：長押しする（約 2 秒以上）
     入：ポンと押す

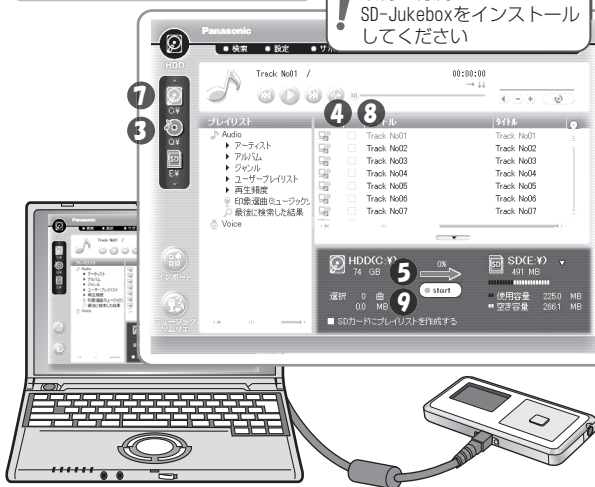
   ▶▶|　早送り/スキップ/サーチ
   |◀◀　早戻し/スキップ/サーチ
   ＋　音量
   −　音量
   MODE　モード切換え※、メニュー表示
   MARK　マーク登録、FM 録音※、ボイス録音※
   ※ SV-SD350V のみ
8. USB 端子ふた
9. カードふた

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

音楽をＳＤカードで持ち

SDステレオシステムをお持ちのかた

SDステレオシステムをお持ちのかたは、音楽CDから直接SDカードに録音することができます。
- SDステレオシステムでの録音方法はSDステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

パソコンをお持ちのかた

! 最初に付属のCD-ROMにあるSD-Jukeboxをインストールしてください

出そう！

SD-Jukeboxを使うと・・・

気分に合わせた選曲をしてくれるソムリエ機能や、好きな曲を自由に分類できるプレイリスト機能などいろいろな編集ができます。

SD-Jukeboxの詳しい操作説明は、SD-Jukeboxの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。（P11）

1. SD-Jukeboxを起動する
2. 音楽CDをパソコンに入れる
3. をクリックする
4. 取り込む曲にチェックを付ける
5. start をクリックする

STEP2

パソコンから
SDカードへ

6. パソコンと本機をUSB接続ケーブルで接続する
7. をクリックする
8. 取り込む曲にチェックを付ける
9. start をクリックする

SD-Jukebox を インストールする

SD-Jukebox は、音楽 CD の曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をSDカードに書き込んでSD オーディオプレーヤーで楽しむことのできるソフトウェアです。

- **インストールの前に、お使いのパソコンが動作環境（P12）を満たしているか確認してください。**

- **インストールの前に、他に起動しているアプリケーションをすべて終了してください。**

- **再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージは紛失しないよう大切に保管してください。**

ご使用上の制限

SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukebox は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダーやドライブ、他のパソコンに移動 / 複写して使用することはできません。
- ご使用のCPUならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

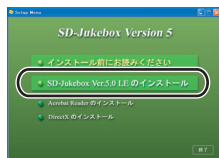
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。
- MMC (MultiMediaCard) は使用できません。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っていない音楽 CD の再生 / 録音には対応していません。

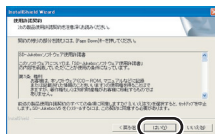
インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しないでください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブに入れる

- インストーラーが自動的に起動します。起動しない場合は、10 ページをお読みください。

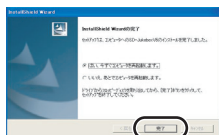
3 「SD-Jukebox Ver.5.0 LE のインストール」をクリック

4 「次へ」をクリック

5 「はい」をクリック

6 名前とシリアル番号を入力して、「次へ」をクリック

- シリアル番号は CD-ROM パッケージの表面に記載されています。

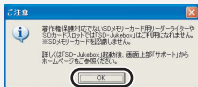
7 インストール先を選び、「次へ」をクリック

SD-Jukebox を インストールする（つづき）

8 音楽データ保存先を選び、「次へ」をクリック

9 プログラムフォルダを選び、「次へ」をクリック

- 次に表示される画面で、「はい」をクリックしておくと、再起動後、デスクトップにアイコンが表示されます。

- お気を付けいただく内容が表示されますので、よく読んで「OK」をクリックしてください。

10 「完了」をクリックして終了する

- 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選ぶと、パソコンが自動的に再起動し、インストールが完了します。
- SD-Jukeboxをインストールすると、USB ドライバーもインストールされます。

インストーラーが自動的に起動されない場合

1. **Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする**
2. **「＊:￥autorun.exe」と入力し、「OK」をクリックする**
   - ＊は CD-ROM ドライブの ID です。
     （例：CD-ROM ドライブが D ドライブの場合「D:￥autorun.exe」）
   - 大文字･小文字のどちらでも文字入力できます。
   - 以下、画面の指示に従って続けてください。

SD-Jukebox を起動する

デスクトップのアイコンをダブルクリックする

SD-Jukebox V5

- ライブラリ画面が表示されます。

◇ デスクトップアイコンが表示されていない場合は

- Windows の「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV5」→「SD-JukeboxV5」の順にクリックする

SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）について

SD-Jukebox の取扱説明書は、PDF ファイルとして同時にインストールされます。

- 取扱説明書（PDF ファイル）をお読みいただくには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

◇ 取扱説明書（PDF ファイル）を読む

- Windows の「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV5」→「SD-JukeboxV5 取扱説明書」の順にクリックする

◇ 取扱説明書（PDF ファイル）が開かない場合は

- 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れ、画面の指示に従って Adobe Acrobat Reader をインストールしてください。

動作環境

対応パソコン
下記対応の OS（日本語版）がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機
対応 OS（日本語版）
Microsoft® Windows® 2000(Professional SP2/SP3/SP4)、Microsoft® Windows® XP(Home Edition/Professional および SP1/SP2)

CPU	Intel® Pentium® III 500 MHz 以上
RAM	256 MB 以上
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量（Windows のバージョンや音楽データにより、別途空き容量が必要です）
ディスプレイ	High Color (16 bit) 以上 デスクトップ領域 800×600 以上 (1024×768 以上を推奨)
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス
CD-ROM ドライブ (インストールおよび CD の録音に必要)	デジタル録音対応 4倍速以上（IEEE1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません）
インターフェース	USB 端子（本機との接続に必要）（USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません）
その他	インターネット接続環境 （CDDB 機能を利用する場合に必要）
必要なソフトウェア	DirectX 8.1 以降

- Macintosh には対応していません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- Windows 3.1、95、98、98SE、Me および Windows NT には対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチ CPU 環境には対応していません。
- システム管理者権限(Administrator)のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- 他のアプリケーションが同時に起動している場合はこの限りではありません。

パソコンに接続する

- **本機の電源を切り（P14）、充電式電池とSDカードを入れておいてください。（P14、16）**

1. **本機の USB 端子ふたを開ける**
2. **矢印面を上に向けて、USB 接続ケーブルをまっすぐ押し込む**
   - 斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります。
3. **パソコンの USB 端子へ**
   - SD カードへの音楽の書き込みやプレイリストの作成、編集には、SD-Jukebox（付属）をお使いください。（P6）
   - USB 接続した本機がパソコン上で認識されない場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。

データ保存機能

本機は USB リーダーライターとしても機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。
そのため、音楽データ以外のパソコン内のデータをドラッグ&ドロップで SD カードに保存できます。

- **USB接続だけでの動作は保証しません。必ず充電式電池を入れてください。**
- 「アクセス中」表示中に SD カードや USB 接続ケーブルを抜き差ししたり、録音中に電池ふたを開けたりすると、SD カード内のデータが消えたり、壊れたりすることがあります。
- USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。
- 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 本機とパソコンを接続中にパソコンが省電力モードになると、復帰時にパソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してください。
- USB 接続ケーブルを取り外すにはパソコンのタスクトレイにある［ ］アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません）
- パソコンと USB 接続しているときも充電式電池は充電されていますが、フル充電はできません。

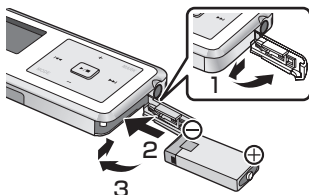
電源の準備

■ 電源の入れかた / 切りかた

▶/■ を**長押し**する(約 2 秒以上）と電源が切れます。
▶/■ を押すと電源が入ります。

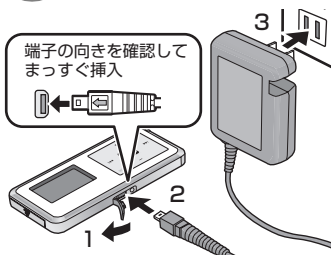
充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

充電式電池を入れる

1. 電池ふたを矢印の方向にずらして、開ける
2. 充電式電池を入れる
3. 電池ふたを閉じる

◇ 充電式電池を取り出すには

電池とび出し防止レバーを外側へずらしながら、電池挿入口を下にして、取り出してください。

2 充電する (AC電源から)

- **充電は電源を切った状態で行ってください。**

1. USB 端子ふたを開ける
2. 矢印面を上に向けて、AC アダプターのケーブルを USB 端子にまっすぐ差し込む
3. ACアダプターをコンセントに差し込む

充電表示	
充電中	スクロール
充電完了	消灯

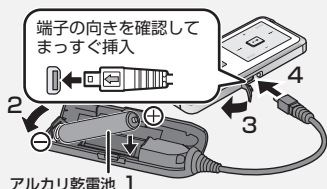
- フル充電時間：約 3 時間 30 分

AC アダプターをつないで使う

ACアダプターを電源として使用すると、長時間連続して使用できます。

- 再生中にACアダプターをつなぐと、再生を停止します。
- FMチューナー受信中にACアダプターをつなぐと、しばらくの間、音が出なくなります。(SV-SD350V のみ)

乾電池ケース※をつないで使う
(※ SV-SD350V のみ付属)

充電式電池とアルカリ乾電池(単3形)を併用すると長時間使用できます。

1. 乾電池ケースのふたを開けて、アルカリ乾電池を入れる
2. 乾電池ケースのふたを閉める
3. USB 端子ふたを開ける
4. 矢印面を上に向けて、乾電池ケースのケーブルを USB 端子にまっすぐ差し込む

- 乾電池ケースを使用しないときは、必ず本機から取り外しておいてください。

電池残量表示

表示パネルに電池の残量が表示されます。

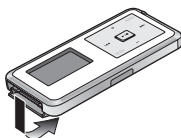
- 点滅後、しばらくすると電源が切れます。

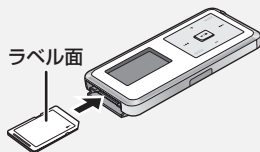
◇ 電池残量表示が点滅しているときは

- 以下の操作は行えません。
  — マーク登録 / 解除
  — FM 録音・ボイス録音※
  — ファイル保護※
  — ファイル削除※
  ※ SV-SD350V のみ
- 表示パネルの点灯時間が短くなることがあります。
- 乾電池ケース(SV-SD350V のみ付属)を付ける、または AC アダプターにつなぎ直す、または充電式電池をフル充電してから操作を行ってください。

- **AC アダプターだけでの動作は保証しません。必ず充電式電池を入れてください。**
- フル充電する場合は、AC アダプターをお使いください。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 再度充電するときは、AC アダプターをつなぎ直してください。
- AC アダプター、乾電池ケースは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、本機から充電式電池を取り出しておいてください。
- 本機の設定を変更したときは、電源を切るまで充電式電池を取り出さないでください。(変更した設定が記憶されません)

SD カードの出し入れ

- **SD カードの出し入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。**
- 「カードにアクセス中です」表示中は、読み込み・書き込みを行っています。電源の切 / 入や、SD カードの取り出しを行うと、本機が正常に動作しなくなったり、SD カードの内容が破壊されたりすることがあります。

カードふたを開ける

2 SD カードを入れる

- ラベル面を上にして「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。

◇ SD カードを取り出すには

1. カードふたを開ける
2. SD カードを「カチッ」と音がするまで押す
3. まっすぐ引き出す

FM・ボイス録音時間のめやす

SD カードの容量	録音時間
32 MB	約 2 時間
64 MB	約 4 時間
128 MB	約 8 時間３０分
256 MB	約 16 時間
512 MB	約 33 時間
1 GB	約 66 時間
2 GB	約 132 時間

- 連続記録は1ファイルあたり24時間まで可能です。

SD カードの書き込み禁止スイッチ

「LOCK」側にしておくと、データの書き込みや削除、フォーマットはできません。

miniSD カード

miniSD カードは専用のアダプターに装着してください。

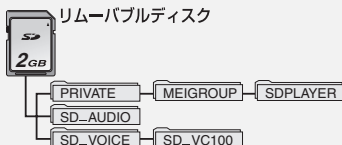
SDカードをフォーマットする

SD カードを正常に認識しない、または記録に失敗する場合、フォーマットする必要があります。

- **フォーマットを行うと、SD カード内のすべてのデータが失われます。**

SDカードのフォーマットについてはSD-Jukebox の取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。(P11)

- SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコン(Windows標準のフォーマット機能)でフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは、SD-Jukebox でフォーマットし直してください。（SD-Jukeboxの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください（P11））

本機で使用した SD カードのフォルダー構造

- エクスプローラなどでファイルやフォルダーの移動や削除などを行わないでください。

◇ 本機を使ってフォーマットするには（SV-SD350V のみ）

1.「ボイス録音」モードにする(P26)

2. MODE を 2 回押す

3. ＋、－を押して「カードフォーマット」を選び、►/■ を押す

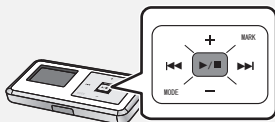
4. ＋、－を押して「はい」を選び、►/■ を押す（2 回繰り返す）

- 完了すると「フォーマット完了」と表示されます。

- フル充電された充電式電池または、AC アダプターを併用してください。

はじめに　SD-Jukebox　準備　再生　安全　その他

SD オーディオを聞く（オーディオモード）

● 音楽を記録した SD カードを本機に入れておく
● ▶/■ を押して電源を入れておく

【SV-SD300 をお使いの場合】

電源を入れて再生する

● 電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

【SV-SD350V をお使いの場合】

1 「オーディオ」モードにする

1. MODE を押す
2. ＋、－を押して「オーディオ」を選び、▶/■ を押す

2 ▶/■ を押して再生する

● オーディオモードで電源を切った場合は、次に電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

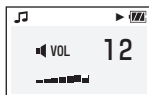
■ 再生中の操作

停止	▶/■ を押す
とび越し(スキップ)	◀◀、▶▶ をポンと押す
早戻し / 早送り(サーチ)	◀◀、▶▶ を押したままにする

■ 停止中の操作

◀◀、▶▶ を押すと、トラックリストが表示されます。曲を選び、▶/■ を押して再生してください。

■ 音量を調整する

大きくする:＋ を押す
小さくする:－を押す
（0～25まで）

● SD カードに記録した曲を選んで削除することはできません。
（SD-Jukebox や SD ステレオシステムで削除してください）

ホールド機能

HOLD スイッチを［▷］の方向に切り換えると、「HOLD」が表示され、ボタン操作を受け付けなくなります。再生が中断するなどの誤操作防止になります。

- 解除するときは、HOLD スイッチを元の位置に戻してください。

オートパワーオフ

節電のため、オーディオ再生、ボイス再生（SV-SD350V のみ）モードで停止状態が1分以上続くと、自動的に電源が切れます。

- オートパワーオフしたときは、▶/■ を押すともう一度電源が入り、自動的に前回停止したところから再生します。

リジューム機能

前回停止したところから再生します。

- SD カードの交換、モードの切り換え（SV-SD350Vのみ）を行うと解除されます。

オーディオモードメニュー

オーディオ
全曲
プレイリスト
マーク登録曲

1. 【SV-SD350V をお使いの場合】 MODE を 2 回押す
   【SV-SD300 をお使いの場合】 MODE を押す
2. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す
   - さらに選択項目があるときは繰り返してください。

「全曲」

すべての曲を再生します。

「プレイリスト」

SD-Jukebox で作成したプレイリスト（「アルバム」、「アーティスト」などの区別で作成されたプレイリストも含む）を選ぶ画面になります。
＋、－で再生したいプレイリストを選び、▶/■ を押すと選んだプレイリストの 1 曲目から再生を開始します。

- 該当するプレイリストがない場合、「該当なし」と表示されます。
- MODEボタンを長押し（約2秒以上）してプレイリストを表示することもできます。
- プレイリストの作りかたは SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。（P11）

「マイベスト」

当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を順に再生します。

- マイベストに分類された曲がない場合は表示されません。
- 再生時、プレイリスト名は「マイベスト」と表示されます。

「マーク登録曲」

マーク登録（P22）した曲を順に再生します。

- 再生時、プレイリスト名は「マーク登録曲」と表示されます。

「アルバム」

SD-Jukebox でアルバムに分類されたプレイリストを選ぶ画面になります。操作は「プレイリスト」を参照してください。

SD オーディオを聞く
（つづき）

「印象」

SD-Jukebox のソムリエ機能で分類されたプレイリストを選ぶ画面になります。操作は「プレイリスト」を参照してください。（P19）

- 再生中、アイコンが表示されます。
  ：ウキウキ ：いやし ：ゆったり ：その他
- 分類されたプレイリストが 1 つしかない場合は自動的に選ばれます。

「アーティスト」

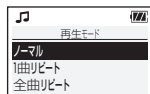
SD-Jukebox でアーティストに分類されたプレイリストを選ぶ画面になります。操作は「プレイリスト」を参照してください。（P19）

「オーディオ設定」

各種、再生の設定を行います。

「再生モード」

再生モード
ノーマル
1曲リピート
全曲リピート

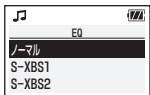
ノーマル　選択したプレイリスト内の曲を順番に再生
1 曲リピート　1 曲を繰り返し再生
全曲リピート　選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生
A-B リピート（再生中のみ）
　同一ファイル内の AB 区間を繰り返し再生
ランダム　選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生
イントロ再生（停止中のみ）
　選択したプレイリスト内の各曲の先頭 10 秒間を順に再生
- お好みの曲をイントロ再生中に、▶/■ を押すと再生を開始し、MARK を押すとマーク登録（P22）できます。

◇「A-B リピート」の区間を設定するには

1. 再生中に「A-B リピート」を選ぶ

2. 開始点(A) で ▶/■ を押し、さらに同一曲内の終点(B) で ▶/■ を押す

- 設定した区間は、スキップや停止操作をすると解除されます。

「EQ」

ノーマル　通常の音質
S-XBS1　迫力ある重低音強調
S-XBS2　S-XBS1 の効果をさらに強調
トレイン　耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防ぐ

「オーディオ設定」

「音質効果」

P. SRD1　パーソナルサラウンド（臨場感あふれる立体的な効果）
P. SRD2　P. SRD1 をより強調
リ . マスター　圧縮録音時に失われた高音域を補完する効果
効果オフ　効果をかけない

- EQ と音質効果の組み合わせによっては、雑音が入ることがあります。

「表示項目」

PL 名 & 曲名　プレイリスト名と曲名を表示
アーティスト & 曲名　アーティスト名と曲名を表示
情報 & 曲名　情報（圧縮 / 伸張方式）と曲名を表示

「マーク登録リセット」

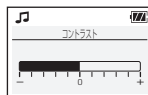
「はい」を選ぶと設定したマーク登録（P22）を解除します。

- 本機でリセットできない場合、SD カード内の「PRIVATE」→「MEIGROUP」→「SDPLAYER」フォルダーにある「MARKLIST.LST」をパソコンを使って削除してください。

「SETUP」

本機の設定を変更できます。

「コントラスト」

表示パネルのコントラストを調整します。
▶▶|（＋方向）、|◀◀（－方向）を押して調整し（それぞれ 5 段階まで）、▶/■ を押して決定してください。

「LANGUAGE」

日本語　日本語
ENGLISH　英語
简体中文　中国語（簡体中国文字）
繁體中文　中国語（繁体中国文字）

「設定初期化」

「はい」を選ぶと、本機の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

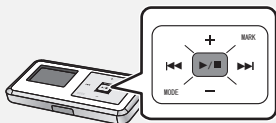
モード選択※	：オーディオ	**再生モード**	：ノーマル
音量	：12	**表示項目**	：PL 名 & 曲名
コントラスト	：0	**ステレオ / モノラル（チューナー）**※	：ステレオ
EQ	：ノーマル	**チューニング方法**※	：マニュアル
音質効果	：効果オフ	**ファイル番号**※	：0001

プリセット登録された放送局はすべて削除されます。※

※ SV-SD350V のみ

お気に入りの曲を集める（マーク登録）

マーク登録しておくと、あとから簡単に選曲できます。

● ▶/■ を押して電源を入れておく

1 「オーディオ」モードにする（SV-SD350V のみ）

1. MODE を押す
2. +、−を押して「オーディオ」を選び、▶/■ を押す

2 再生中、または停止中に |◀◀、▶▶| を押して、マーク登録したい曲を選ぶ

3 MARK を押す

- 「マーク登録しました」と表示されます。
- 最大 99 曲まで登録できます。
- トラックの終端付近（約 5 秒間）を再生中は登録/解除できないことがあります。

マーク登録した曲を再生する

1. MARK を長押し（約2秒以上）する
   - マーク登録された曲がリスト表示されます。

2. +、−を押して再生する曲を選び、▶/■ を押す

- オーディオモードメニューから「マーク登録曲」を選んで再生することもできます。（P19）

マーク登録を解除する

1. |◀◀、▶▶| を押してマーク登録した曲（★の付いている曲）を選ぶ

2. MARK を押す
3. +、−を押して「はい」を選び、▶/■ を押す
   - 「マーク登録を解除しました」と表示されます。
   - 「マーク登録リセット」メニューでマーク登録をすべて解除できます。（P21）

- 再生中にマーク登録（または解除）した場合、再生を停止したあとで SD カードに情報を書き込みますので、書き込みが終わるまで SD カードや充電式電池を取り出さないでください。（情報が更新されません）
- A-B リピート中は登録できません。
- A-B リピート中、イントロ再生中は解除できません。

SV-SD350V のみ

FM 放送を聞く（FM チューナーモード）

ステレオインサイドホンのコードはFM アンテナを兼ねていますので、伸ばしてお使いください。

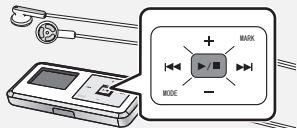
- **▶/■ を押して電源を入れておく**

1 「FM チューナー」モードにする

1. MODE を押す

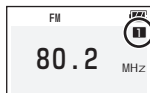
2. ＋、－を押して「FM チューナー」を選び、▶/■ を押す

2 ⏮、⏭ を押して選局する

- 自動選局するには、 2秒以上押したままにします。離すと自動スクロールし、受信した放送局で自動停止します。

自動で放送局を登録させて聞く（20 局まで）

1. FM 受信中に、MODE を 2 回押す

2. ＋、－を押して「オートプリセット」を選び、▶/■ を押す

- 受信できる放送局を自動的に探し、順番に登録します。

- 登録すると、「1」などが表示されます。
- 選局に約 1 分かかります。（受信状態によっては、それ以上かかる場合があります）
- 登録したあと、⏮、⏭ を押して選局してください。
- 電波が弱いときや雑音が多いときは、登録できないことがあります。不要な周波数や雑音を記憶してしまうときは、「プリセット CH 削除」で削除し（P25）、手動で登録し直してください。（P24）
- 終了すると、最初にメモリーした放送局が表示されます。チューニング方法は「プリセット」になります。

- パソコン等のデジタル機器の周辺では、雑音が多くなることがあります。
- FM チューナー受信中に AC アダプターをつなぐと、しばらくの間、音が出なくなります。

SV-SD350V のみ

FM 放送を聞く（つづき）

手動で放送局を登録したいときは（20 局まで）

1. FM受信中に、MODEを2回押す
2. ＋、－を押して「チューニング方法」を選び、▶/■ を押す

3. ＋、－を押して「マニュアル」を選び、▶/■ を押す
4. ⏮、⏭ を押して登録したい放送局を受信する
5. MODE を 2 回押す
6. ＋、－を押して「プリセット登録」を選び、▶/■ を押す

7. ＋、－を押してチャンネルを選び、▶/■ を押して決定する

- 続けて登録するときは手順 4 ～ 7 を繰り返してください。

◇ プリセット登録したチャンネルを選局する

登録したあと、「チューニング方法」を「プリセット」に設定すると、⏮、⏭ を押して選局できます。画面に「1」などが表示されます。

FM 録音する

- 空き容量のある SD カードを入れておく

1. FM 受信中に、MARK を押す

FM
80.2 MHz
MARK ：録音
MODE ：キャンセル

2. MARK を押す
   - 録音が始まります。（MARK または▶/■ を押すと停止します）
   - 録音しないときはMODEを押してください。

- FM 録音した音声はボイス再生モード（P27）で再生してください。
- FM 録音したファイルは「F××××」（FM 時）、「T××××」（TV 時）のファイル名で保存されます。
- ファイル名「F××××」、「T××××」、「V××××」の ×××× は累積記録回数です。（モードに関係なく記録するたびに 1 ずつ大きくなります）
  「番号リセット」（P26）、「設定初期化」（P21）を行うと 0001 に戻ります。

- FM 録音時に音量を調整すると雑音が入ることがあります。
- FM録音中にMODEを押すたびに、表示が録音時間「REC」から残り時間「REMAIN」、ファイル名「F××××」（「T××××」）と切り換わります。
- メモリー残量が 10分未満になると残り時間表示に切り換わり、点滅します。（「REMAIN」以外には切り換わりません）
- 音声はモノラルで録音されます。
- 録音中に AC アダプターをつなぐと、録音を停止します。

FM チューナーモードメニュー

1. FM 受信中に MODE を 2 回押す

2. +、−を押して項目を選び、▶/■ を押す
   - さらに選択項目があるときは繰り返してください。

「EQ」

ノーマル
通常の音質
S-XBS
重低音を強調

「オートプリセット」

23 ページの「自動で放送局を登録させて聞く（20 局まで）」を参照してください。

「プリセット登録」

24 ページの「手動で放送局を登録したいときは（20 局まで）」を参照してください。
- 「チューニング方法」を「マニュアル」に設定したときのみ表示されます。

「プリセット CH 削除」

選んでいるプリセットした放送局を削除します。
+、−で「はい」を選び、▶/■ を押して削除してください。
- 「チューニング方法」を「プリセット」に設定したときのみ表示されます。

「チューニング方法」

マニュアル
放送局（周波数）を手動で選ぶ（P24）
プリセット
記憶させた放送局を選ぶ

「ステレオ / モノラル」

ステレオ
ステレオで受信
- オートステレオです。

モノラル
モノラルで受信（「MONO」が表示されます）
- 雑音が多い場合、軽減されます。
- TV 受信は「モノラル」です。

「受信地域」

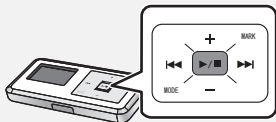
日本　日本
USA　アメリカ
ヨーロッパ　ヨーロッパ / アジア
- 設定を変更すると、プリセットで登録された放送局はすべて削除されます。

「SETUP」

オーディオモードメニューの「SETUP」を参照してください。（P21）

SV-SD350V のみ

声を録音する（ボイス録音モード）

- 空き容量のある SD カードを入れておく
- ▶/■ を押して電源を入れておく

- 録音したファイルは「V××××」のファイル名で保存されます。
- 録音時に音量を調整すると雑音が入ることがあります。
- 録音中にMODEを押すたび、表示が録音時間「REC」から残り時間「REMAIN」、ファイル名「V××××」と切り換わります。
- メモリー残量が10分未満になると残り時間表示に切り換わり、点滅します。
- 「ボイス録音」モードで、1 つのファイルとして連続して記録できる時間は、約 24 時間までです。
- 録音中に AC アダプターをつなぐと録音を停止します。

1 「ボイス録音」モードにする

1. MODE を押す
2. ＋、－を押して「ボイス録音」を選び、▶/■ を押す

2 MARK を押し、マイクに向かって録音する

- 録音を停止するときは、▶/■ または MARK を押してください。

- 録音中はマイクをふさがないでください。

ボイス録音モードメニュー

1. MODE を 2 回押す
2. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す
   - さらに選択項目があるときは繰り返してください。

ボイス録音
番号リセット
全ファイル削除
カードフォーマット

「番号リセット」

次に録音するファイル名を「0001」に戻します。＋、－で「はい」を選び、▶/■を押してください。

「全ファイル削除」

ボイス再生モードメニューの「全ファイル削除」を参照してください。（P28）

「カードフォーマット」

「SD カードをフォーマットする」を参照してください。（P17）

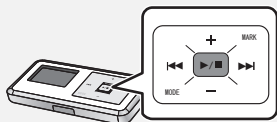
「SETUP」

オーディオモードメニューの「SETUP」を参照してください。（P21）

SV-SD350V のみ

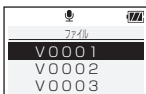
声を再生する（ボイス再生モード）

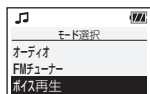
FM 録音、ボイス録音したファイルを再生できます。

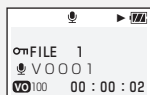
● ▶/■ を押して電源を入れておく

■ 再生中の操作

停止	▶/■ を押す
とび越し(スキップ)	⏮、⏭ をポンと押す
早戻し / 早送り (サーチ)	⏮、⏭ を押したままにする

■ 停止中の操作

⏮、⏭ を押すと、ファイルリストが表示されます。ファイルを選び、▶/■ を押して再生してください。

1 「ボイス再生」モードにする

1. MODE を押す
2. ＋、－を押して「ボイス再生」を選び、▶/■ を押す

● SDカード内に再生できるファイルがたくさんある場合、再生画面になるまでに時間がかかることがあります。

2 ▶/■ を押して再生する

● ボイス再生モードで電源を切った場合は、次に電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

ボイス再生モードメニュー

1. MODE を 2 回押す
2. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す
   ● さらに選択項目があるときは繰り返してください。

■ 再生中に表示させた場合

「再生モード」

ノーマル
選択したファイルから順番に再生

1 ファイルリピート
1 ファイルを繰り返し再生

全ファイルリピート
全ファイルを繰り返し再生

A-B リピート
同一ファイル内の AB 区間を繰り返し再生

SV-SD350V のみ

声を再生する（つづき）

「SETUP」

オーディオモードメニューの「SETUP」を参照してください。（P21）

■ 停止中に表示させた場合

「再生モード」

「再生中に表示させた場合」（P27）を参照してください。（「A-B リピート」は再生中のみ設定できます）

「1 ファイル保護」

選んでいるファイルを削除できないように保護します。
＋、－で「保護」を選び、▶/■ を押してください。「保護解除」を選ぶと、保護を解除します。

「全ファイル保護」

すべてのファイルを削除できないように保護します。
＋、－で「保護」を選び、▶/■ を押してください。「保護解除」を選ぶと、保護を解除します。

「1 ファイル削除」

選んでいるファイルを削除します。
＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

「全ファイル削除」

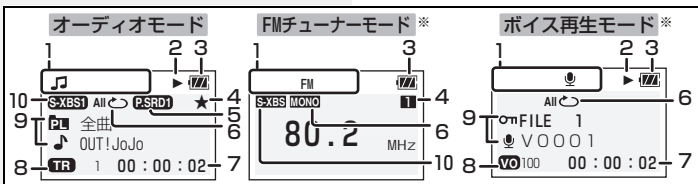
すべてのファイルを削除します。
＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。
再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

「SETUP」

オーディオモードメニューの「SETUP」を参照してください。（P21）

- 本機で録音したファイルにはファイル保護がかかっています。（「On」が表示されます）ファイル削除は、保護を解除してから行ってください。
- ボイス録音したデータなど大切なファイルは、SD-Jukebox を使ってパソコンなどにも保存しておくことをおすすめします。
- 保護、削除するファイル数が多いと時間がかかります。フル充電された充電式電池または、AC アダプターを併用してください。

画面表示

※ SV-SD350V のみ

1. モード
   - ♫ : オーディオモード
   - FM : FM チューナーモード※
   - 🎙 : ボイス再生モード※
     ボイス録音モード※
2. 再生中
3. 電池残量
4. マーク登録
   プリセットチャンネル※
5. 音質効果（オーディオモードのみ）
   - P.SRD1 : P.SRD1
   - P.SRD2 : P.SRD2
   - RM : リ．マスター
6. 再生モード /FM 音声※
   - 1 : 1 曲 /1 ファイル※リピート
   - All : 全曲 / 全ファイル※リピート
   - A B : A-B リピート
   - : ランダム（オーディオモードのみ）
   - INTRO : イントロ（オーディオモードのみ）
   - MONO : モノラル※（FMチューナーモードのみ）
7. 曲 / ファイル※の再生時間
8. 曲/プレイリスト/ファイル※番号
   TR / PL / VO ※
   - DP :「全曲」を再生中に表示
   - MRK :「マーク登録曲」を再生中に表示
9. 表示項目など
   - ♪ :曲名（オーディオモードのみ）
   - 🎙 :ファイル名※（ボイス再生モードのみ）
   - PL :プレイリスト名（オーディオモードのみ）
   - :アーティスト名（オーディオモードのみ）
   - :ファイル保護※（ボイス再生モードのみ）
10. EQ
   S-XBS1/S-XBS2/TRAIN
   （オーディオモードのみ）
   S-XBS※（FM チューナーモードのみ）

■ こんな表示が出たら

カードにアクセス中です	● SD カードを抜かないでください。
パスワードでカードがロックされています	● SD カードにパスワードがかかっていて、再生や録音ができません。パソコンでパスワードを解除してください。
HOLD	● ホールド状態です。（P19）
ERROR	● エラーです。SD カードの抜き差し、電源の切り入りで直らないときは、電池の抜き差しをしてください。
PLEASE WAIT	● データの処理中です。しばらくお待ちください。
EMERGENCY STOP	● データに異常があります。本機で処理できませんので電源を切ってください。

安全上のご注意
（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

充電式電池は本機を使って充電する

本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

●充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

充電式電池は、はんだ付け・分解・改造したり、火の中へ投入・加熱はしない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠警告

分解禁止

分解・改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや､交流100 V～240 V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると､発熱による火災の原因になります。

乗り物を運転中に操作したりステレオインサイドホンで使わない

事故の原因になります。

● 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

⚠ 警告

SD メモリーカードや充電式電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

充電式電池の ⊕ と ⊖ をショートさせない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属の充電式電池ケースに入れてください。

充電式電池のチューブを絶対にはがさない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

- 電池には安全のためにチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になります。はがれたものは使わないでください。

AC アダプターのコード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機や AC アダプターのプラグに触れない

感電の原因になります。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長時間使わないときは、AC アダプターを抜いてください。

⚠注意

ストラップの取り扱いに注意する

首にぶら下げて使用中に、誤って突起物に引っかかった場合、首を絞める恐れがあります。

音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電池は誤った使いかたをしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
（乾電池入りの乾電池ケースも同様です）
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池ケースでは乾電池の代用として充電式電池を使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは水でよく洗い流してください。

液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機や充電式電池、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。機器表面や内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

ステレオインサイドホン、ストラップなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

付属の AC アダプターを使う

指定外のACアダプターで使用すると火災や感電の原因になります。

使用上のお願い

■ 本機について

付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない、また、ズボンのポケットなどに入れない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、充電式電池を取り出してください。また、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、乾いた布を水にひたし、よく絞ってから汚れをふき、そのあと、乾いた布でふいてください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

■ 充電式電池について

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ：http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ＋端子、－端子をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 被服をはがさないでください。
- 分解しないでください。
-

- FM チューナー録音のスタート画面が出るまでに時間がかかることがあります。

-

■ AC アダプターについて

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属の AC アダプターをお使いください。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、ACアダプター単体で約0.1 Wの電力を消費しています）
- AC アダプター、充電式電池の端子部を汚さないでください。

故障防止のために本体・AC アダプター・乾電池ケースは、以下の場所で使用・保管しないでください。

- 雨水、水滴がかかるところ
- 万一雨水や水滴、汗などが付着したときは、水をよく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。
- 風呂場など湿気が多いところ
- 倉庫などほこりが多いところ
- 腐食性のガスなどが発生するところ

■ SD カードについて

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

−このマークがある場合は−

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

故障かな？

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

操作できない	●ホールド状態になっていませんか？（P19） ●電池が消耗していませんか？（P15） （消耗していないときは、電池の抜き差しを行ってみてください） ●充電式電池や乾電池ケースの端子が汚れていませんか？
充電しても再生時間が短い	●初めての充電や長時間未使用後の充電では短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ●充電しても再生時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です。充電回数は約 300 回です。
聞こえない	●音量が最小になっていませんか？（P18） ●ステレオインサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？（一度抜いて、再度差し込む） ●プラグが汚れていませんか？
マーク登録/解除やFM 録音、ボイス録音などができない	●電池残量表示が点滅していませんか？（P15） AC アダプターをつなぐか充電式電池をフル充電してから操作を行ってください。
1 曲目から順番に再生しない	●ランダム再生になっていませんか？（P20） ●リジューム機能が働いていませんか？（P19） ●オーディオモードメニューで、「全曲」以外が選ばれていませんか？（P19）
雑音が多い	●テレビや携帯電話などに近づけて使用していませんか？
本体やACアダプターが熱い	●充電中は多少熱くなりますが、異常ではありません。
SDカードが使えない	●SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていませんか？ ●パソコンでフォーマット(FAT32 形式や NTFS 形式など）しませんでしたか？ （本機または SD-Jukebox でフォーマットしてください）
パソコンと接続してもSDカードを認識しない	●NTFS 形式でフォーマットしたカードを本機に入れた場合、「Administrator（コンピューターの管理者）」（またはこれと同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンし、「マイコンピュータ」から「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、「取り出し」を選んでから本機とパソコンの接続を解除してください。
FM チューナー録音にすぐ切り換わらない	●FM チューナー録音のスタート画面が出るまでに時間がかかることがあります。
FM チューナーモードで雑音が入る	●AC アダプターまたは乾電池ケースを接続するとFM チューナーモードで雑音が入ったり、受信感度が悪くなることがあります。
ボイス再生で途中、音が小さくなる	●録音中にボタン操作をすると、モニター音や録音音声が小さくなることがあります。

Quick Guide
(English)

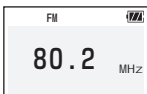
■ Initially set the LANGUAGE in SETUP mode to English

◇ Playing tracks (AUDIO mode)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. **(SV-SD350V only)**
   Select **AUDIO**.
   (Press **MODE**→
   Press ＋ or －→
   Press ▶/■)

3. **(SV-SD350V only)**
   Start play.
   (Press ▶/■)
   Play stops at the end of the list.
4. Adjust the volume. (0–25)
   (Press ＋ or －)

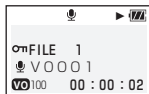
◇ Using the FM radio (FM TUNER mode) (SV-SD350V only)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **FM TUNER**.
   (Press **MODE**→
   Press ＋ or － →
   Press ▶/■)

3. Select the station.
   (Press |◀◀ or ▶▶|)
4. Adjust the volume. (0–25)
   (Press ＋ or －)

◇ Voice recording (VOICE REC mode) (SV-SD350V only)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **VOICE REC**.
   (Press **MODE**→
   Press ＋ or －→
   Press ▶/■)
3. Start recording.
   (Press **MARK**)
4. Speak into the microphone.
5. Stop recording.
   (Press ▶/■ or **MARK**)

◇ Voice playing (VOICE PLAY mode) (SV-SD350V only)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **VOICE PLAY**.
   (Press **MODE** →
   Press ＋ or － →
   Press ▶/■)

3. Start play.
   (Press ▶/■)
4. Adjust the volume. (0–25)
   (Press ＋ or －)

仕様

※ SV-SD350V のみ

項目	仕様
サンプリング周波数	**オーディオ**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **ボイス※**：8 kHz
圧縮 / 伸長方式	**オーディオ**：AAC 方式、WMA 方式、MP3 方式 **ボイス※**：G.726 準拠
チャンネル数	**オーディオ、FM チューナー受信※**：ステレオ /2 ch **ボイス録音再生※、FM チューナー録音再生※**：モノラル /1 ch
周波数特性	**オーディオ**：20 Hz ～ 20,000 Hz（+ 0 dB、－ 6 dB） **ボイス※**：20 Hz ～ 3,000 Hz
受信周波数帯域※	76 MHz ～ 90 MHz（100 kHz ステップ）、TV 1 ～ 3 ch
音声入力※	モノラルマイクロホン（内蔵）
音声出力	3.3 mW+3.3 mW（16 Ω、M3 ジャック）
電源	**充電式電池**：DC 1.2 V **乾電池ケース※**：DC 1.5 V（単 3 形アルカリ乾電池× 1）
フル充電時間（充電式電池：付属）	約 3 時間 30 分
電池持続時間	**SD オーディオ連続再生** ●**充電式電池**：約 23 時間 ●**単 3 形乾電池※**：約 85 時間 ●**充電式電池、単 3 形乾電池併用※**：約 94 時間 **FM チューナー受信※** ●**充電式電池**：約 8 時間 **FM チューナー録音※** ●**充電式電池**：約 5 時間 **ボイス再生※** ●**充電式電池**：約 19 時間 **ボイス録音※** ●**充電式電池**：約 7 時間
AC アダプター	**入力**：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、18 VA **出力**：DC 4.8 V、1.0 A
寸法	**本体寸法**：幅 86.0 mm ×高さ 40.0 mm ×奥行き 9.9 mm（突起部除く） **最大外形寸法**：幅 87.0 mm ×高さ 40.5 mm ×奥行き 10.3 mm（JEITA）

質量	**SV-SD350V** 約 48.4 g（充電式電池含む） 約 35.9 g（充電式電池含まず） **SV-SD300** 約 47.9 g（充電式電池含む） 約 35.4 g（充電式電池含まず）
対応記録メディア	SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB まで使えます）

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
（表示できない文字は「_」と表示されます）

  表示可能文字　日本語　　：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
  簡体中国文字：GB2312 準拠※
  繁体中国文字：BIG5 準拠※
  ※すべての文字コードに対応しているものではありません。
- Windows Media Audio 9 (WMA9)対応(WMA9のProfessional、Lossless、および MBR※には対応していません)

※ Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：
お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

補修用性能部品の保有期間

当社は、この SD オーディオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外してお買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD オーディオプレーヤー
品　番	SV-SD350V/ SV-SD300
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011				

東北地区

青森	青森市第二問屋町3-7-10 ☎ (017)739-9712	**岩手**	盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	**山形**	山形市平清水1丁目1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市東通り2丁目1-7 ☎ (050)5519-6348	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117	**福島**	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2555	**埼玉**	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	**山梨**	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5171
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	**千葉**	千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034	**神奈川**	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (029)864-8756	**東京**	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	**新潟**	新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-0171

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683	**長野**	松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)86-9209	**岐阜**	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
富山	富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	**静岡**	静岡市駿河区西島765 ☎ (054)287-9000	**高山**	高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606	**名古屋**	名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	**三重**	久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎ (077)582-5021
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225
奈良 大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128
出雲 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133
浜田 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629
岡山 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236
広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
山口 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎ (083)973-2720

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253
高知 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142
愛媛 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-3644

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815
宮崎 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213
熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
天草 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
大島 名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

さくいん

愛情点検　長年ご使用のＡＣアダプターの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水などの液体や異物が入った ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SV-SD350V/ SV-SD300
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご添付がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口はP44、45をご参照ください。

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のP42をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.

持込修理

Panasonic

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご相談ください。
詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SV-SD350V / SV-SD300
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間** （「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話　（　）　－
※販売店	住所・氏名 電話　（　）　－

松下電器産業株式会社
パナソニックAVCネットワークス社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL(06)6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。